
哀の初恋

はっぴ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

哀の初恋

【Nコード】

N0175B

【作者名】

はっぴ

【あらすじ】

哀ちゃんの、恋の物語です♪哀は、自分の気持ちに気づくことができるのでしょうか!?

コナン「なんだよ」

哀「えっ…別に…」

私はいつから彼のことを見つめていたのだろう…
どうして、見つめていたのだろうか？

歩美「哀ちゃん、どうしたの？」

哀「えっあ…別になんでもないわ」

ガラガラ

11Bの教室のドアが開き、小林先生が入ってきた。

小林先生「みなさん、2時間目の授業を始めます！席について」
2時間目の授業は算数。

高校生の私達にとっては、とても退屈な授業…

スースー

相変わらず寝ているのが、隣の席の彼。

とても気持ち良さそうに寝ている…

哀「どんな夢を見ているのかしら？」

小さな声で思わず呟いてしまった。

小林先生「はーいそれじゃあ、ここの問題分かる人！！」

生徒達「はーい！ はーい！」

小林先生「それじゃあ…ん？江戸川くん？！」

私はそっと、彼の体をつついた…起きる気配はまったく無い。
でも、こんなことも楽しかった。

☆音楽集会☆

彼は音痴。音程を外してばかり…
隣の私はとても歌いにくい……

でも、彼が隣にすることが嬉しい

コナン 「おい灰原」

哀 「えっ…何？」

コナン 「もう集会終わったぞ！帰らねーのか？」

哀 「あっ……」

コナン 「大丈夫か？今日の灰原なんか変たぞ？」

哀 「えっ………いいえ、なんでもないわ♪」

コナン 「えっ…ああ………??？」

そうだったのね…やっと分かったわ

疑問に思っていたことが……。

私は……彼のことが好きだったのね……

そう…あの、彼のことが……

☆終わり☆

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0175b/>

哀の初恋

2010年10月9日01時23分発行